

# 動く重機に歓声

## 建設業へ理解深める

荒尾・万田小

荒尾市万田小学校（北岡督久校長）で9月21日、地元の建設会社をゲストティーチャーに、重機をテーマにした特別授業が行われた。1年生86人が建設機械の役割を教わって乗車も体験。建設業への理解を深めた。



モーターグレーダーに試乗する児童

講師を務めたのは同市原万田の加来建設。同社は7月後半から同校運動場の工事を行っており、校内の畑も整備。こうした関わりもあり、今回初めて学校の授業の一環で重機を紹介した。

授業は「おしごとほけん：重機を見よう」と題して行われ、加来晴瑛社長と社員5人が来校した。整地作業などに使用されるバックホー、タイヤローラー、モーターグレーダーを紹介。それぞれの機械について説明・実演し、児童も試乗した。児童は動く重機に乗って歓声を上げ、タブレット端末で撮影。最後は工事現場の撮影に使われるドローンで記念撮影も行われた。

統悠真さん（7）は「運転しているところが、カッコいい。思ったよりも速くて面白かった。きょう乗って全部の機械が好きになりましたし、工事にも興味が出てきた」と笑顔。加来社長は「子どもたちが喜んでいる姿を見るのはうれしいですね。今後も業界のことを知ってもらう機会として、こうした活動を続けていきたい」と話していた。

（河野 美緒）

10月3日付け

有明新報記事